

F2-41

劇場・ホールのバリアフリーと芸術鑑賞の多様性についての研究

Research on diversity of art appreciation in theaters and halls

○大塚晴希¹, 田中賢²*Haruki Otsuka¹, Yasushi Tanaka²

I studied barrier-free measures in theaters and halls. A questionnaire survey and a website survey were conducted. Information on when barrier-free support is not possible is not posted on the website. Improvements to the venue environment are underway. Some theaters are making progress in accommodating children and collaborating with local communities.

1. はじめに

1-1. 障がい者の芸術鑑賞について

障がい者が劇場・ホール等での芸術鑑賞をしたいと思っても、情報収集、チケット予約・購入、公演当日の行き帰りの道のりや劇場内の設備などの面から行動が円滑に進まないため、芸術鑑賞を諦めてしまう可能性があるのではないかと。

1-2. (公社)全国公立文化施設協会の「劇場・音楽堂等バリアフリー化推進プロジェクト」^[1]について

本研究は「劇場・音楽堂等バリアフリー化推進プロジェクト」を参考にしている。劇場・音楽堂等の設置者、運営者などに対し、バリアフリー化のための情報提供・指導・助言を行う総合窓口を開設し、普及・啓発と支援を進めるプロジェクトである。ここで尾上浩二氏(DPI 日本会議副議長)は障がい者が公演を楽しむまでを時系列に3段階(公演の情報取得、チケット予約・購入、公演当日)に分けてチャートで留意点を述べている。

2. 研究の目的

それぞれの劇場のバリアフリーの現状について調査し、課題を明らかにすることで、今後の芸術鑑賞を多様な人々が楽しめるよう考える。

3. 調査概要

3-1. 調査方法

本研究は、各劇場・ホールのホームページ(HP)からバリアフリーや劇場に関する情報収集をした後、各劇場・ホールへのアンケート調査を行い、課題点を明らかとする。都内24カ所の劇場にアンケートを郵送し、内7カ所から回答を得た(2022年8月実施、回収率29.2%)。

3-2. 各劇場へのアンケート調査項目

前述の尾上氏が作成したチャートを元に調査項目を設定した。

筆者は、尾上氏の指摘した留意事項に対し考えられ

るバリアフリー対策を検討し質問項目を作成した。更に子どもへの対応や地域との連携についても質問項目を付加した。

4. 調査結果と考察

回答のあった7劇場・ホールのアンケート結果と、そのHPからの情報を合わせて表1に示し、結果の考察を時系列で述べる^[2]。

4-1. 公演情報の取得について

劇場の主催公演や公演が1ジャンルの場合は、会場のバリアフリー情報の提供がしっかりとされるが、演目や公演主催者が変わる場合には十分対応できず情報提供は少ない。HPにバリアフリー情報を掲載していても、バリアフリー情報専用ページを設けていない場合もある。音声ガイドや字幕ガイド、望遠鏡の貸出しを実施している劇場・ホールは5/7(71%)であり、多くがそのことをHPに掲載している。一方、貸出しを行っていないことを掲載する劇場・ホールはない。

HPにバリアフリー情報専用ページを設けることで、行っているサービスを見落とすことなく認識できるため、HPのトップ画面にバリアフリー情報専用ページの見出しがあることが重要だと考える。また、多様な人が多様な劇場を訪れることを想定すると、サービスの有無にかかわらず掲載方法や掲載する項目を劇場・ホール間で統一するべきである。

4-2. チケット予約・購入について

アンケートのフリーアンサーから、HPの充実と並行してオペレーターの質を向上させ柔軟に個別対応することも重要との指摘があった。

4-3. 公演当日の対応について

車いす観劇のバリアフリー座席を設置している劇場・ホールは、6/7(86%)である。一方、聴覚障がい者や、静かに観劇が困難な者向けのバリアフリー座席を設けている劇場は、3/7(43%)であり、車いす対応と比べて十分とは言えない。

1: 日大理工・学部・まち 2: 日大理工・教員・まち

4-4. 受入れ態勢について

障がい者団体と連携してバリアフリーを協議している劇場では、多様な人々がプログラムを楽しむために、舞台説明会や触察ツール、ボディソニックなどの多数の工夫を用意している。また、聴覚障がい者対応のバリアフリー座席も設置している。このように障がい者団体をはじめ、地元の自治体や施設と連携することは、的確に必要な対応策を施設側が把握する上で重要である。

5. まとめ

多様な人々が多様な劇場・ホールを訪れやすくするためにHP掲載情報を統一すべきと考える。また、車

いす使用者への配慮は進んでいるが、その他への対応は十分とは言えない現状が明らかとなったことから、障がい者団体や地元の自治体や施設と連携し、行うべきバリアフリーを実施することが重要である。現在行われている周辺の商店街やオフィス、駅などとの連携の内容は、追跡調査する予定である。

6. 参考文献

- [1] (公社)全国公立文化施設協会 HP (最終閲覧2022年8月末)
- [2] 国立劇場・国立能楽堂、サントリーホール、四季劇場、歌舞伎座、浅草演芸ホール、東京芸術劇場、PARCO劇場、以上7劇場のHP (最終閲覧2022年8月末)

表1 7劇場・ホールのバリアフリーの状況

		国立劇場、国立能楽堂	サントリーホール	四季劇場	歌舞伎座	浅草演芸ホール	東京芸術劇場	PARCO劇場		
公演の情報取得	バリアフリー情報専用ページの有無		○	○	○	○	○	○		
	会場についての情報	バリアフリー情報	会場までのアクセス	○	○	○	○	○	○	
			会場内のアクセス	○	○	○	○	○	○	
			トイレ情報	○	○	○	○	○	○	
			座席情報	○	○	○	○	○	○	
		プログラムへのアクセシビリティ情報	手話							
			字幕	○					○	
	音声ガイド		○	○		○		○		
	機器の貸出し		○			○		○		
	料金について		○			○	○	○		
チケット予約・購入	予約について	予約システム	インターネット	○	○		○	○		
			電話	○	○	○	○	○		
			メール		○	○		○		
			FAX							
		窓口		○	○		○	○		
		バリアフリー座席	有無	車いす利用者	○	○	○	○	○	
				聴覚障がい者 静かに観劇することが難しい方					○	
			同伴客席はある		○			○		
	選択可能か?			主催者による			○			
	購入	支払方法		○	○	○		○		
障がい者割引		○	ほとんどの公演で○		○	○				
公演当日	入場まで	最寄り駅から会場までのアクセス	駅からの徒歩所要時間	5分	5分	1分	5分	30秒	2分	15分
		坂や段差、階段なく移動		○	○	○	○	○		
		タクシー等送迎者の車寄せ		○	○					
		駐車場の車いす専用スペース		○			○		○	
	入口から座席までの移動	補助犬の同伴		○	○	○	○	○	○	○
		坂や段差、階段なく移動		○	○	○	○	○	○	○
		スタッフ対応	誘導	○	○	○	○	○	○	○
			筆談	○	○	○	○	○	○	○
		案内表示		○	○	○	○	○	○	○
		多機能トイレ	坂や段差、階段	○	○	○	○	○	○	○
	車いすの回転		○	○	○	○	○	○	○	
	鑑賞サービス機器の貸出し		○	○	○	○	○	○	○	
	座席への着席	車いすのまま		○	○	○	○	○	○	
		椅子への着席	車いすの預かり等	○	○	○	○	○	○	
		バリアフリー座席からの視線の確保		○	○	○	○	○	○	
	観覧	プログラムを最初から最後まで楽しめるか		○	○	○	○	○	○	
	終了後の移動	座席から出口までの移動		○	○	○	○	○	○	
		タクシーの手配		○	○	○	○	○	○	
受入れ態勢	子どもの受入れ態勢	子供用クッションの貸出し		○	○	○		○		
		子ども向けの公演専用の情報ページ			○	○				
		声を出したり泣いたりしても大丈夫な室								
		その他		○		○				
	地元との連携・協働・情報交換	地元の自治体				○				
		地元の商店街や店舗・オフィス			○	○				
		最寄り駅				○				
障がい者団体						○				